

早期水稲情報 第1号

J A む な か た
北筑前普及センター

本年は4月20日頃から田植えが始まり、ピークは4月24～5月1日頃でした。

4月21日から5月20日にかけての気象は、平年と比べて平均気温は1.0℃高く、降水量は178%と多く、日照時間は102%と平年並みと推移しました。

現在の生育は下表のとおりで、4月中下旬田植えの圃場では「有効分けつ決定期」に近づいており、まもなく中干しの開始時期になります。

今後の管理は、下記の事項に注意して行いましょう。

5/30の生育状況	津屋崎(4/28田植え)		吉武(4/23田植え)
	夢つくし	コシヒカリ	夢つくし
草丈(cm)	23.8	25.9	30.9
茎数(本/株)	8.8	15.1	16.4

1. 水管理・中干し

4月中下旬植えの圃場では、中干しの準備を行ってください。

● 溝切り

中干しにスムーズに入るために、できるだけ溝切りをしましょう。画像は宗像市吉武地区の圃場で、予定の茎数(株当たり20本前後)になる前に溝切りを行っています。



● 中干し開始時期

中干しの開始時期は、株当たり茎数が20本程度に達したときで、下表を参考にほ場で茎数を確認して決定してください。

田植時期	中干し開始時期(目安)
4月25日	6月2日頃
5月5日	6月10日頃

★中干しの効果

1. 土壌中へ酸素を供給し、根の生育を旺盛にする。
2. 無効分けつの抑制と倒伏防止(窒素の過剰吸収を抑える)
3. 土壌が固化するため、収穫前まで適切な水管理が行える。

- 中干しは、田面に小指が入るくらいの亀裂が入る程度に行いますが、白乾状態が長く続く場合は、生理機能低下や断根などで稲が傷むので、走り水を行いましょう。
- 中干しの期間は1週間程度ですが、降雨が続き土が乾かない場合は長めに行います。
- 中干し終了後は、根腐れを防ぐために、水を溜めっぱなしにせず、間断かん水を行いましょう。

2. 後期除草剤の使用

初期除草剤が使用できなかった場合など、雑草の発生が見られる場合は、移植後日数や収穫前日数に注意し、雑草に合った中期除草剤を使用しましょう。

◎中期除草剤

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用量 (10a 当り)	
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	移植後 25 日～ノビエ 5.0 葉まで (但し収穫 30 日前まで)	1.5kg	湛水
	クリンチャー ジャンボ	移植後 25 日～ノビエ 4 葉まで (但し収穫 40 日前まで)	30 パック	
	クリンチャーEW	移植後 20 日～ノビエ 6.0 葉まで (但し収穫 30 日前まで)	薬量 100mℓ 水量 100ℓ ※展着剤加用	落水
広葉 かツグサ	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	移植後 15～55 日 (但し収穫 50 日前まで)	薬量 700mℓ 水量 100ℓ	落水
ノビエ 広葉 かツグサ	クリンチャーバス ME液剤	移植後 15 日～ノビエ 5.0 葉まで (但し収穫 50 日前まで)	薬量 1000mℓ 水量 100ℓ	
	ワイドアタックSC	移植後 20 日(イネ 5 葉期以降)～ ノビエ 5.0 葉まで(但し収穫 30 日前まで)	薬量 100mℓ 水量 100ℓ	
	アクシズMX 1キロ粒剤	移植後 7 日～ノビエ 4.0 葉期 (但し収穫 45 日前まで)	1 kg	湛水

●落水処理は、散布の 1～2 日前に落水し、薬剤が雑草によくかかるように散布し、散布後 3 日間は水を入れない。

3. 病虫害防除

今後、梅雨に入ると、葉いもちの発生が心配されます。発生の動向に注意して、補正防除を行ってください。また、葉いもちの発生原因となる置き苗は直ちに除去しましょう。

★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 水田では止水期間（1 週間程度）を遵守
- ④ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を 3 回通水し、洗浄
- ⑤ 使用後の空容器は水で 3 回洗浄後保管し、適正に処理（JA の回収日に出す）
- ⑥ 防除履歴の正確な記帳